

2019年度 高柳健次郎賞・高柳健次郎業績賞 決定

公益財団法人高柳健次郎財団(理事長末松安晴)は、電子科学技術及びその応用に関する独創性ある研究開発について表彰する「高柳健次郎賞」1件、「高柳健次郎業績賞」2件、「研究奨励賞」3件を決定した。各賞は、羽鳥光俊 氏(東京大学名誉教授)を委員長とする選考委員会で慎重な審査により選定されました。贈呈式は、2020年1月20日(月)、東京・千代田区の千代田放送会館にて開催いたします。

◆ 高柳健次郎賞 (表彰盾並びに記念のメダル贈呈)



福島 邦彦 博士 (一財)ファジイシステム研究所 特別研究員

業績内容

「神経回路モデルに基づくパターン認識技術の
先駆的研究と放送応用への貢献」

福島氏は、NHK 放送科学基礎研究所(当時)において、脳の生理学の知見を参考に工学モデルを構築する学際的研究から、1979 年に世界で初めてパターン認識モデル「ネオコグニトロン」を開発し、今日のAI 技術の中核であるディープニューラルネットワークの基本構造を生み出した。

この構造を組み込んだ畳み込みニューラルネットワークは、画像認識精度を競う2012 年開催の国際会議において従来技術を圧倒する成績を収め、現在に続くディープラーニングなどのAI 技術の発展へとつながった。昨今の放送技術は、福島氏の功績により大きな発展を遂げている。NHK で実用化を進める画像/音声認識、映像要約、音声合成、ビッグデータ解析などの各種AI 技術は、氏の研究成果を礎にしている。

◆ 高柳健次郎業績賞 (表彰盾並びに副賞として賞金 50万円贈呈)



岡田 健一 博士 東京工業大学 工学院電気電子系・教授

業績内容 「CMOS 集積回路による
ミリ波超高速無線通信技術に関する研究開発」



舟橋 正和 氏 出光興産株式会社 電子材料部
電子材料開発センター 所長付

業績内容 「有機 EL フルカラー大型ディスプレイ用の
青色発光材料の研究と実用化への貢献」

この件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 高柳健次郎財団

〒102-0082 東京都千代田区一番町4番地5 ニューライフ一番町 309 電話 03-3239-1207

ホームページ <https://takayanagi.or.jp>

メールアドレス tkinez@oak.ocn.ne.jp